

第2学年1組 英語科学習指導案

指導者 黒田 健太

1 日 時 令和4年6月10日（金）13:10~14:00

2 単 元 名 「『think』で自分を語る」

3 学 習 空 間 2年1組教室

4 単元（題材）について

(1) 新学習指導要領の実施に伴い、英語を学習し、学習したことを実際のコミュニケーション活動で生かせる力を育成すること、日常的（社会的）な話題について英語で理解し表現し合うなど、主体的に外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことが求められている。

本単元では、自分の考えを表現することができるthinkが新出表現として出てくる。文法的な構造の理解はもちろんのこと、それをを用いて自分の意見をどう伝えるかを考え、選択し、表現できる単元である。つまり、本単元を通して思考・判断・表現する力を獲得できると考える。

本単元「A good pet」について、生徒一人一人に説得力のある英語で自分の意見を語り合わせたい。英語の授業で自己表現活動を行う際に、便利なタブレット端末を活用してインターネットから得られる語彙や文法に頼って自分の考えや意見を表現する場面が多々ある。本当に自分の言いたいことを伝えようとするあまり、単語や文法的な正確性に欠け、未習の表現が多くなり、本来の目的である「自分の考えや意見」を伝えにくくなってしまいうことが大いに予想される。そこで、既習表現を使って、「自分の考えや意見」に寄り添う表現活動を行いたいと考えている。しかし、そこには「言いたいけど言えない。」「どう表現すればよいか分からない。」といった「困難」が発生することが予想される。そこは、班で探究的な学びを行い、他者と語り合う中で自分なりの答えを見つけ出させたいと考えている。そして、他者と円滑なコミュニケーション活動が英語で行えるようにstrategicな能力の向上を目指していきたい。

また、本単元の最後には、ALTとのやり取りを設定しており、自分の知っている表現を活用して何とか相手に自分のことを伝えようとしたときに、英語で誰かとつながることができ、その喜びを感じられるようにしていきたい。様々な人と英語を用いて考えを共有し合うおもしろさを感じ、英語で意欲的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を養いたいと考えている。

教科書で取り上げられている身近な話題や社会問題に対して、題材を自分ごととして捉え、考えや意見を表現することで「自己に引きつけた語り」を生み出したいと考えている。また、自分の姿をいつでも振り返られるようにICTを活用し、その様子を録画し、記録することによって「ものがたり」を紡げるようにしていきたい。

(2) 本学級の生徒は、男子20名、女子15名の合計35名である。生徒は、新出文法を学習したのち、自分の考えや意見を相手に伝えるコミュニケーション活動に意欲的に取り組んでいる。また、1-minute talkでの即興的な会話活動においても、ICTを活用したり、会話を広げるヒントを参考にしたりしながら会話を続けられるように、切磋琢磨し合う姿が見られる。しかし、「英語を即興で話すことをどう思いますか。」というアンケートに対して96%の生徒が「難しい」「やや難しい」と回答している。「即興性」に関して、「困難」を感じている生徒が大半である。また、理由として「単語や文法が分からないから」と65%の生徒が回答している。この結果から「単語や文法」をたくさん知っていないと英語で会話することができないと考えている生徒が多いと考える。その生徒の当たり前を覆せるような授業を展開していきたいと考える。

(3) 本単元（題材）を指導する（個の「ものがたり」を深める）にあたって、次の点に留意したい。

- ・ 万能と思われるタブレットを使って自分の考えや意見を英作・発表することで相手に伝わらないことを確認し、「既習表現」で伝えることの大切さを自ら発見できるようにする。

- ・ 友だちと意見を共有する中で「表現」に新たな気づき生まれ、「表現の幅」を広げるようにする。
- ・ それぞれの「ものがたり」を紡ぐために ICT を活用し、活動を記録させ、過去・現在・未来の自分の姿を客観的に捉えさせる。

5 本単元の目標

(1) 本単元の「ものがたりの授業」構想図

『ものがたりの授業』

★授業者のねがい（授業を通して生徒に期待する成長や変容）

既習表現を活用して自分たちの考えや意見を伝えることの楽しさを感じてほしい。

●題材（自分の意見を伝えること）に対する「ものがたり」の変容

(学習前)

英語で話そうと思ったときに上手く表現することができない。単語や文法をあまり知らないからだ。もっと表現の幅を広げる必要がある。

探究的な学び
他者と語り合う

(学習後)

英語を話そうと思うと表現の幅を広げる必要があると思っていたが、既習表現をうまく活用することも大切であるし、うまく使えたら嬉しい。

≪（授業者が考えた）「自己に引きつけた語り」の例≫ *「自己に引きつけた語り」部分

自分のことを英語で伝えることは、普段のコミュニケーション活動で行っていた。英語で自分の考えや意見を伝えることのおもしろさは感じていた。しかし、自分の言いたいことがうまく言えなかったり、どう伝えたらいいかわからず困ったりする場面があった。しかし、単元を通して今までに学習した表現を使ってどう伝えるかを考えることができ、きちんと伝わったという評価をもらったので達成感を味わうことができた。もちろんたくさんの単語や文法を知って、活用できると表現の幅が広がると思うので、これからの学びに期待したい。今回感じたコツをこれからのコミュニケーション活動に生かしていきたい。

即興で自分の意見や考えを伝えるのは難しかったけど、今までより自分のことを ALT に伝えることができた。英語を使ってコミュニケーションをとることのおもしろさを改めて感じる事ができた。英語を学ぶことで、日本人以外の人にも自分たちの考えや意見を発信できる。これからも「言えない」を「どう言おう」と考え方を変えて意欲的に英語を学んでいき、様々な人とコミュニケーションをとっていきたい。

(2) 本単元で育成する資質・能力

知識 技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	○「think (that)」の文法構造を理解するとともにそれを用いて自分の考えを相手に伝えることができる。
思考力 判断力 表現力等	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	○身近な話題について、英語で自分の考えや意見を聞き手が納得のいくように伝えることができる。
学びに向かう力 人間性等	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	○英語を用いて、自分の考えを伝えたり、相手に質問したりしてコミュニケーションを図ろうとする。

(3) 単元構成 (全5時間)

時間	学習課題 (中心の問い) と◆学習内容	生徒の思考・反応・振り返り
0	<p>◆「英語が言えなくて困る場面」に対する「解決策」を記述する。</p> <p>どうしたら「困り」を解決できるかな？</p> <p>たくさん知っていないと英語は話せないの？</p> <p>確かにそうだね。では、自分たちの考えや意見を英語でどうやって伝えていくことが大切かを一緒に考えていきましょう。</p>	<p>生徒の思考・反応・振り返り</p> <p>「単語」「文法」を知っていれば…</p> <p>話せないことはないけど、表現に広がりがない。言いたいことを言えないときがある。</p>
1	<p>(学習課題) <u>What pet is good for people?</u></p> <p>◆理由も含めて答えを考え、ペアに発表する。</p> <p>◆自分の知っている表現だけで考えさせることで単元後と比較しやすくする。(しかけ)</p> <p>では、この問いについて個人で考えをまとめてください。必ず英語で伝えてもらいます。日本語はもちろんジェスチャー等も禁止です。今回は、辞書の使用も禁止です。</p> <p>では、1分程度で自分の考えや意見を友だちに伝えてみてください。</p> <p>◆原稿を作成し、伝えてもよいことを伝える。</p> <p>即興で伝えるのは難しかったですね。では、英作をしてください。自分の意見がまとまった状態で伝えてみましょう。</p> <p>◆班を作り、一人1分程度で自分の考えや意見を友だちに伝える。</p> <p>◆班で1人ずつ主張し、全員が評価を行う。(しかけ)</p> <p><評価ポイント></p> <p>1. 主張に対する理由がきちんとあるか。(説得力があるか)</p> <p>2. 主張したいことを適切な単語を使用し表現できているか。(分かりやすいか)</p> <p>では、班で一人1分程度話してみてください。聞いている人は評価シートで評価をしてあげてください。</p> <p>◆ビデオを撮影し、あとから自分の様子が振り返られるようにする。(しかけ)</p>	<p>自分の知っている単語で言うしかない…でも、どう伝えよう…</p> <p>1分も伝えられないよ…即興で言うのは難しい…</p> <p>英作をすれば、考えが整理できるので自分の考えや意見を言いやすくなるぞ。</p> <p><具体例></p> <p>I think dogs are good pets for people. I have two reasons. First, I like them very much. Second, they are cute. Third, I can play with them. So I think dogs are good pets for people.</p> <p>言いたいことは分かるけど、説得力があまりない、理由がシンプルすぎる…</p>



全員の発表が終わりました。評価シートを見て自分のどこを直せばいいかを考えましょう。また、ビデオを見て今の自分の英語力についてどう思うかを書いてみましょう。

説得力をつけたり、分かりやすくしたりするためにもっといろいろな単語を使いたいな。単語が必要だ！



2.3

(学習課題) 自分の言いたいことを説得力のある英文で具体的に書こう！伝えよう！

◆タブレットや辞書を使用し、原稿を修正する。(しかけ)



前回の振り返りから自分の言いたいことを伝えるためにはもっと単語を知る必要があるという意見が出ました。今回は、タブレットを使って原稿を修正してみましょう。

タブレットを使えばもっと自分の言いたいことが言えるぞ！



◆班を作り、一人1分程度で自分の考えや意見を友だちに伝える。
◆班で1人ずつ主張し、聞いている人は前回と同じ評価ポイントで評価を行う。(しかけ)



では、実際に発表を行ってみましょう。評価もお願いします。

あれ？全員言いたいことを言っていると思うけど、単語が難しくて分かりにくい！よく分からないぞ。



◆友だちの原稿を見て、理解できなかったところに線を引く。(しかけ)



友だちの発表を聞いて分かりにくかった表現に線を引いてみてください。

見たことのない単語は線を引こう。自分の原稿もたくさん指摘されているな。どうしたらいいだろう？



4
(本時)

(学習課題) 自分たちの知っている英語だけで伝えられないのか？

◆1-minute talk を行う。
◆前回友だちに指摘された部分を班員全員で考え、修正を行う。(しかけ)



前回作成した英作で「単語」が分かりにくいという意見が出ました。それでは意味がありません。では、どうしましょう？班で、「言い換え」ができないかを考えてみましょう。

◆教師が「言い換え」のポイントを考える。
＜ポイント＞
1. 類似した単語を使用する。
2. 具体的な例を示す。
3. イメージを表現する。

＜具体例＞
I think dogs are good pets for people.
I have three reasons.
First, they are clever*1. They always follow their owners' orders.
Second, they can be watchdogs*2.
Third, wagging*3 the tail is cute.
So dogs are good pets for people.
*1 smart
*2 Dogs often attack bad people.
*3 moving



3つのポイントを参考に考えてみてください。そして、使いやすいポイントを班で相談して使ってみてください。

◆今まで習った表現・単語集を配布する。
(手だて)

みなさんが今までに学習してきた表現や単語集です。参考にしてみてください。

◆ビデオ撮影・評価を行い、最初と見比べる。
(しかけ)

では、原稿の修正ができましたか？もう一度、班で発表を行ってみましょう。

◆前回と比べての振り返りを行う。

評価シートやビデオを見比べて、振り返りを行いましょ。

5

(学習課題) 英語で自分たちの意見や考えを伝えるとは？

◆ALT に発表する。

それぞれ準備してきたものを ALT の先生に発表していきましょう。

◆発表中に ALT に質問を投げかけてもらう。
(即興でのやりとりの設定)

即興的に返事をするのは難しいですね。でも、分かる範囲で答えを返してみましょ。

◆振り返りを行う。

この単元を通してどんなことを学びましたか？
「英語が言えなくて困る」ことについて考え方は変わりましたか？

学習した表現だけで言い換えるのは難しいけど、できるところもあるぞ。あとは、忘れていているところが…

こんなにたくさん学習していたんだ！今まで上手に活用できてなかったんだな…

最初と比べて自分たちの知っている単語で説得力のある考えや意見を英語で伝えることができた。意外と知っている単語で伝えることができたので驚いた。タブレットで調べて伝えることが全てではないと思った。自分たちで言葉を選びながら話すことは大切だと思った。

うまく伝わるか不安だけど、頑張って伝えてみよう。

「言い換え」の3つのポイントも使いながら即興で返事ができるように頑張ろう。

「単語」や「文法」は確かに大切だけれど、自分たちの知っている表現だけでも「困り」を解消することができた。また、ALT と即興で話す際も活用できた。英語を学ぶことで、日本人以外の人にも自分たちの考えや意見を発信できる。これからも「言えない」を「どう言おう」と考え方を改めて意欲的に英語を学んでいき、様々な人とコミュニケーションをとっていきたい。

6 本時の学習指導

(1) 目標

- ・ 自分たちの納得のいく「言い換え表現」を考えることができる。
- ・ 自分たちの考えや意見を既習の英語を使いながらで伝えることができる。

(2) 学習指導過程

学習内容及び学習活動	予想される生徒の反応	○教師のかかわり・★しかけ
1 1-minute talkを行う。	○ 自分の言いたいことを言えない時があって苦手だ。	○ 今までの原稿をもとに会話を続けようと努力することを確認する。
2 学習課題を確認する。	学習課題：自分たちの知っている英語だけで伝えられないのか？	
3 前時の原稿を返却する。	○ タブレットや辞書を使って完成させた原稿だから説得力がある文章が書けている。 ○ 難しい単語は相手に伝わらなかったな。どうすればいいだろう。	○ タブレットや辞書で書かれた例を示し、内容が理解できないことを確認する。 ★ 班で分かりにくかったところをお互いに指摘し合っているので、どこが伝わっていないかが明確になっている。
4 原稿を書き直す。	○ タブレットや辞書の言葉は学習していないので、友だちに伝わらないな。	○ モデルを示すことで、考えるときの参考にさせる。 ○ 表現しにくいものは一緒に考える。あくまで、生徒主体。
5 教員が「言い換え」のモデルを示し、ポイントを確認する。 a. 類似した単語を使用する。 b. 具体的な例を示す。 c. イメージを表現する。	○ 3つのポイントを参考に友だちと考えてみよう。 ○ どう「言い換える」といいだろう。 ○ 今までどんな表現を習ったかな… ○ 意外と今まで習ったことで表現できるぞ。	○ 「話したこと」は瞬間的であり、議論するのが難しいので、「文字にされたもの」で考えさせる。 ○ 1年生で習った表現・単語集を配布し、既習表現を確認させる。
6 発表・評価を行う。	○ 難しい単語を使わなくてもきちんと理解し、評価してくれたぞ。 ○ 前回と比べても評価も高くなったし、達成感もあるぞ。 ○ 説得力もあって自分たちの知っている表現で相手に伝えることができたぞ。	★ タブレットで撮影を行い、前回との比較を行うよう指示する。 ★ 評価シートやタブレットを活用して、自分たちの知っている表現で会話できることを確認し、成長を実感させる。
7 振り返りを行う。	○ 最初は難しいと思っていたことが、今では少し簡単に感じるようになった。	★ 単元前後の様子を振り返らせることによって、変容を見とりやすくする。

7 見取り

- ・ 「振り返り」で自分の考えや意見を英語で意欲的に伝えていきたいと肯定的な意見が見られるか。